

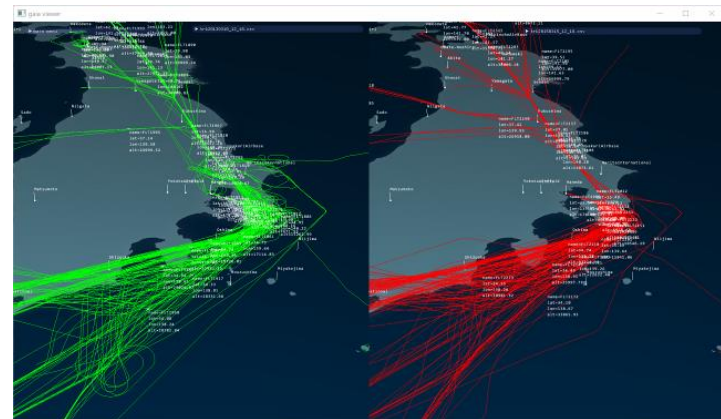
ポスト「京」に向けた航空交通流の大規模計算と可視化プログラムの開発

大阪大学 サイバーメディアセンター 安福健祐

目的：本研究は複数の相互作用する航空機モデルで構成されるマルチエージェントシステムをベースに、安全性、効率性、ロバスト性を備えた最適なフライトスケジュールの議論に利用しやすい大規模航空交通流シミュレーションツールの開発を目的としている。

内容：システム開発段階では、大量の航空機軌道データを扱うためのビジュアルアナリティクスツールを開発して活用している。シミュレーションと実際の航空交通流データに対応し、データ同化ステップと最適化結果の有効性を直感的に検証できるインタラクティブな可視化プログラムを提案した。

利用した大規模可視化システム：
24面大型立体表示システム



航空交通流シミュレーションの比較結果